

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 1 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2005-13934 (P2005-13934A)

【公開日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【年通号数】公開・登録公報 2005-003

【出願番号】特願 2003-184752 (P2003-184752)

【国際特許分類】

B 0 1 J 38/00 (2006.01)

C 0 7 C 213/06 (2006.01)

C 0 7 C 219/08 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

B 0 1 J 38/00 3 0 1 A

C 0 7 C 213/06

C 0 7 C 219/08

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 20 日 (2006.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

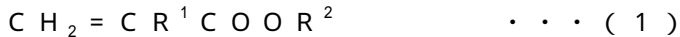
【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

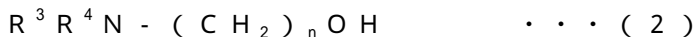
【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式 (1) で表される (メタ) アクリル酸エステルと、



(式中、 R^1 は水素又はメチル基、 R^2 は炭素数 1 または 2 のアルキル基を示す。)

式 (2) で表されるアルキルアミノアルコールと、



(式中、 R^3 、 R^4 はそれぞれ独立に炭素数 1 ~ 8 のアルキル基を示し、 n は 1 ~ 4 を示す。)

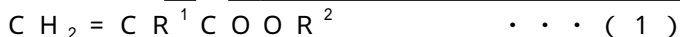
を原料として用い、触媒の存在下で、(メタ) アクリル酸アルキルアミノエステルとなる反応を行った後に、該触媒を再利用可能に回収する触媒の回収方法であって、

(A) 残存する原料、および該 (メタ) アクリル酸アルキルアミノエステルを回収する工程と、

(B) その残渣に、該触媒を再利用する反応の原料の少なくとも一部を混合し、その混合液を回収する工程と、

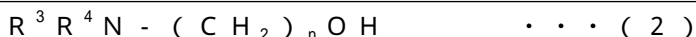
を有する触媒の回収方法。

【請求項 2】 式 (1) で表される (メタ) アクリル酸エステルと、



(式中、 R^1 は水素又はメチル基、 R^2 は炭素数 1 または 2 のアルキル基を示す。)

式 (2) で表されるアルキルアミノアルコールと、



(式中、 R^3 、 R^4 はそれぞれ独立に炭素数 1 ~ 8 のアルキル基を示し、 n は 1 ~ 4 を示す。)

を原料として用い、触媒の存在下で、(メタ) アクリル酸アルキルアミノエステルとなる反応を行った後に、

(A) 残存する原料、および該 (メタ) アクリル酸アルキルアミノエステルを回収する工程と、

(B) その残渣に、該触媒を再利用する反応の原料の少なくとも一部を混合し、その混合液を回収する工程と、

回収された触媒の少なくとも一部を用いて、

前記式 (1) で表される (メタ) アクリル酸エステルと、

前記式 (2) で表されるアルキルアミノアルコールと、

を反応させる (メタ) アクリル酸アルキルアミノエステルの製造方法。